

特集

「喪失」に 直面する人へのケア

「喪失」は、誰もが人生の中で幾度と経験するものです。

「老化や病氣、障害によって心身の健康が損なわれる」「死別によって大切な人を失う」。在宅ケアの現場ではあらゆる形で喪失体験と出会い、それに伴って生ずる悲嘆や葛藤に対するケアが求められます。「喪失に対するケアこそが、在宅ケアの中心である」と言っても過言ではありません。

本特集では、喪失とそれに対するケアという視点から、ケア（特にグリーフケア）の意義とその必要性を確認していき、現場で行われている実践を捉え直します。

「喪失」によって生ずるもの、それに対して何ができるか

●坂口幸弘

「あいまいな喪失」という概念と、求められるケア

●瀬藤乃理子

ケアを提供する人（対人援助職）のためのケア

●米虫圭子

「喪失」に直面する人に、訪問看護師は何を意図して関われるか

●倉持雅代

【付録】死後に求められる諸手続き一覧

●泉原久美

※一部変更となることがあります。

編集後記

ポ ケットエコーを取り入れることで、どんな未来が開けるか。技術論はさておいて、まずはそのストーリーを共有することを狙った特集でした。費用対効果が疑問視される向きもあるのですが、その点に関する皆さんの記述にはぐっとくるものがありませんか？ かかるコストをどう回収するか。いや、そもそも何を「効果」と見るか。事業所が描いているビジョンによって、こうも多様に捉え直すことができるのかと、視野が広がる思いでした。▶新連載がスタートしました。奥が深い認知症について学んでいきます！…小池

エ コーで不要な医療行為を減らす、不要な救急搬送が減らせる、療養者さんへの侵襲的負担を減らせる……特集ご執筆の皆さんの美学とスキルに、シビれました。『しない』判断は「する」判断よりも実は難易度が高く、逆に手間がかかることなのですね。エコーは「見える」ようになるツールですが、「見えないけれどすごい看護スキル!」を見せていただきました。

…米沢

訪問看護と介護 第25巻 第4号（通巻286号） 2020年4月15日発行（毎月1回15日発行）

発行：株式会社医学書院 代表者：金原俊

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23 Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo*2020, Printed in Japan

1部定価：本体1,500円＋税 年間購読料（税抜、送料弊社負担、年間12冊）：12,600円（冊子版）／15,600円（冊子＋電子版／個人）／12,600円（電子版／個人）

販売・PR部：☎03-3817-5659 社内案内：☎03-3817-5600

『訪問看護と介護』編集室：☎03-3817-5787 FAX03-5804-0485 担当：小池・米沢・伊藤

E-mail houmon@igaku-shoin.co.jp Twitter @houmonkango Facebook @houmonkangotokaigo

医学書院ホームページ <http://www.igaku-shoin.co.jp/> ウェブマガジン『かんかん!』 <http://www.igs-kankan.com>

本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・貸与権・公衆送信権（送信可能化権を含む）は（株）医学書院が保有します。

本誌を無断で複製する行為（複写、スキャン、デジタルデータ化など）は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的（診療、研究活動含む）で上記の行為を行なうことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行なうことは違法となります。

JCOPY 出版者著作権管理機構委託出版物

本書の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。

複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構（電話 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。

*「訪問看護と介護」は株式会社医学書院の登録商標です。